



一句も神に染ぬればことごとく彼岸を資く、思惟修習永く舟航に用たり (高祖日蓮聖人・一代聖教大意)

日蓮聖人は「法華經の一句でも心に沁み込めば、必ず悟りの岸に到る資けとなり、思惟したり修行すれば、必ず生死の大海を渡り、悟りの岸に到る船となる」との、妙楽大師のお言葉を引用されて私たちにお示しです。

今年は猛暑厳しく鮮やかな彼岸花の咲く時季も遅れるのでしょうか。その別名「曼殊沙華」は、天界の花、という意味で法華經の梵語に由来し、諸天が意のままに降らせ、その純白の花を見る者は黒い悪業を離れるといいます。韓国では、花と葉を同時に見ることができないことから、花は葉を思い、葉は花を思うという意味で「相思華」と呼ぶそうです。日本では、異名が約千種類ほどあり、「死人花、地獄花、幽霊花、狐花、火事花、墓花」等々、あまり好まれる花ではなかったようです。

彼岸花は種が飛んで広がる花と違い、球根を植えた所にしか咲きません。なぜこの花が田の畦道や土手に多いのか…。それは昔の人がそこに植えたからです。この花の球根には毒があり、ひどくまずいので、田の畦道や土手に多いのはネズミやモグラの穴開け防止に、また墓地に多いのはその毒による土葬の死体荒らし対策という説があるようです。

しかし、もう一つ大事な説があります。最近も食料品の値上げや令和の米騒動がありますが、昔は百年に一度は大飢饉があり、生きるためには草木や犬猫やカラスなど何でも食べました。特に、江戸時代・天明の大飢饉では、陸奥国(津軽藩)は大凶作といわれ、辺境部各地では人肉相食む凄惨な話もあったとか…。それだけ困った時にだけ、この花の球根を掘り返し、何度も水にさらして毒抜きしてその澱粉を食べたのです。これを食べるときは、「もうじきあの世(彼岸)行きじゃ」と泣きながら食べたのだとか…。

悲願をこめてこの花を植えている人々、そして球根を食べている人々の姿。この花は開発の進んだ所、整地された場所から(真備の土手も災害で整備され)消えつつあります。開発と共にこの話も消えていくのでしょうか。



🌸🌸🌸 こちょっこ寺の行事案内 🌸🌸🌸

※秋のお彼岸※ 令和7年9月21日(日) 午前11時より

お彼岸とは、春分・秋分の日をはさんで前後三日の七日間、日常生活の中で自らを振り返り、今を生きていることの意味を考え、神仏に感謝し、ご先祖様をご供養する大切な期間です。

全ての檀家さんのご先祖供養の法要を行います。個別に卒塔婆供養を希望される方は、別紙の申込書からお申し込みください。

🌸御会式🌸 令和7年12月1日(月) 午後6時30分より

日蓮聖人の第744回目の御入滅報恩御会式の法要です。
本住寺で大切に続けてきた法要ですので、是非お参りください。

🌿小さな法話会🌿 令和7年12月8日(月) 午後2時より

「信仰は楽しく！」がモットーの妙紀が話すちいさな法話会に来てみませんか？
美生氣功を取り入れた呼吸法で三調(調身・調息・調心)を整え、おやつを食べるゆったりなひと時。
来てくれた人が笑顔になれる、そんなお寺を目指しています。(要予約:参加費1000円)

※信行唱題会※

毎月第3金曜日 午後2時より
(参加費:500円お茶菓子付)
太鼓のリズムでお題目♪
唱えた後は、気分スッキリ！
呼吸法で心身の調和をはかり
心も身体も健康になりましょう。

※観音経写経会※

毎月第3土曜日 午前9時～午後5時(随時)
(参加費無料・ただしお手本代が千円かかります)
ただ静かに観音経を書き写す。
仏さまと向き合い、自分自身と向き合う。
日頃のストレスで疲れた心をリフレッシュ。
心豊かなひとときをどうぞ。

※その他イベントなど※

その他、講師の先生をお招きして様々なレッスンも開催しております。日時や詳細につきましてはお寺までお問い合わせください。(妙紀:080-5233-1270)
『氣功教室&歌声喫茶』…誰でも簡単に出来る氣功体操とウクレレにあわせて歌う懐かしい歌のひと時。
『精麻のワークショップ』…精麻を縫ったり結んだり包んだり、ゆるゆると自分の宇宙と対話の時間。
『美生氣功ヒーリング』…誰もが本来持っている自然治癒力と美しさを取り戻していく癒しの時間です。

🌀御祈祷のご案内🌀

本住寺では各種ご祈祷(お祓いやご祈念)が出来ます。ご祈祷は予約制で承っており、内容に合わせて御札やお守りをお渡しさせていただいております。お寺でのご祈祷の他、ご自宅等にお伺いしてご祈祷することも出来ますので、お気軽にご相談ください。

- 🕯️ ご祈願 (家内安全・身体健全・當病平癒・合格祈願等の各種お願い事など)
- 🕯️ 厄除け (厄年に当たる方や、八方塞がり等の運氣向上など)
- 🕯️ 車体祈祷 (交通安全のご祈念とお車のお祓いをします)
- ・・・その他、地鎮祭や家祈祷なども出来ますので、ご相談ください。



倉敷市真備町服部1587
☎086(698)9770
<http://www.honjuzi.com/>

- ※仏事に関すること等でお悩みやお困りごと等がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。
- ※法事のご予約はお早目にお願いいたします。
お寺の都合によりご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。